

# 家庭基礎学習指導案

## 1 単元名 持続可能な消費生活

### 2 単元設定の理由

#### ○単元観

2022年4月から成年年齢が引き下げられ、18歳から一人で有効な契約をすることができるようになった。同時に、未成年者取消権が使えなくなり、消費者トラブルが低年齢化することが懸念され、学校現場における消費者教育の重要性が高まっている。また、急速に進むキャッシュレス社会への適応力や氾濫する情報の中での慎重な意思決定ができる力も求められている。

学習指導要領の改訂に伴い、消費生活・環境においては、契約の重要性や消費者保護の仕組みに関する内容を充実するなど、消費者被害の未然防止に資する内容の充実が図られた。このような状況の中、社会状況と共に変化する金融や消費に関する知識、判断力を身につける必要がある。

#### ○生徒観

本学級の生徒の家庭科に対する興味・関心は高く、授業への意欲的な姿勢が見られる。6月と10月に本学級を対象に、1週間のお小遣い帳を付けるよう指示し、その後、アンケートフォームを使った日頃の消費行動に対する調査を実施した。調査した週に使ったお金の平均は約2000円であった。また、調査した週に無駄遣いした自覚がある生徒は27人おり、その平均は約500円であった。なお、「普段からお小遣い帳をつけている」生徒は3人で、「日頃、自分が使っている金額についてきちんと把握している」生徒は4分の1程度であった。生徒たちは、全員がキャッシュレス決済の経験があり、現金を介しない消費生活の中、自分が使っているお金の收支が分かりにくくなっている現状がある。

#### ○指導観

指導にあたっては、生徒間の意見交換や協働学習を円滑に進めるために、端末を用いる。具体的には、個人の意見やグループで話し合ったことをデジタルホワイトボードで共有したり、アンケートフォームで得たデータをグラフ化したり、AIテキストマイニングで分析したりすることで、クラスの傾向を把握しやすくする。また、授業の内容を実生活と結びつけるため、事前に「買い物行動チェックシート」を用い、自身の消費生活を振り返る機会を設けたり、動画を視聴したりすることで、キャッシュレス決済を全員が同じイメージで頭に思い描けるようになる。消費生活、特に家計や社会保険料、税金、資産形成などの内容は、生徒たちはまだ先のことと捉えがちであるが、授業の中で自分自身の生活と置き換えやすくすることで、意欲的に学べるよう工夫する。

## 3 単元指導目標

- ・金融、消費に関する知識と判断力を身に付ける。
- ・金融、消費に関して合理的に意思決定ができるようになる。

#### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する。</p> <p>②消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。</p>	<p>①生涯を見通した生活における経済の管理や計画的重要性について、ライフステージや社会保障などと関連付けて考察する。</p> <p>②自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫する。</p>	<p>①自身の生活を振り返り、金融、消費に関する課題を見つけ、課題解決に主体的に取り組むことができる。</p> <p>②健全な金銭感覚を身につけ、適切に金銭管理しようとする。</p>

#### 5 単元の指導と評価の計画

次	配当時間	○学習内容・学習活動	評価規準			評価方法
			知	思	主	
一	3	○多様化する販売方法と契約 ・契約、問題商法、消費者ホットライン（188）、消費生活センター等のトラブルへの対処の仕方を理解する。	① ②	① ②	①	○様相観察、ワークシートの記述分析【思考力・判断力・表現】
		○家計と生活設計 ・給与明細を読み取り、可処分所得や社会保険料、家計の消費支出の費目の大まかな分類を理解する。				○ワークシートの記述分析【主体的に学習に取り組む態度】
		○人生設計とお金 ・お金には、「貯める」以外に「育てる」手段があることを金融商品の基礎知識と共に学び、ライフサイクルゲームを使って疑似体験をする。				○期末考査【知識・技能】
二	1 (本時)	○支払方法の多様化と消費者信用 ・自分の消費行動について振り返り、今後のお金の使い方について考える。 ・キャッシュレス社会の課題について考え、具体的な対応をまとめたり、デジタルホワイトボードで発表したりする。	①	①	① ②	○様相観察、デジタルホワイトボードの記入状況【思考力・判断力・表現】
						○ワークシートの記述分析【主体的に学習に取り組む態度】 ○期末考査【知識・技能】

## 6 本時（第二次 1時間目）

### （1）本時の指導目標

- ・様々なキャッシュレス決済について知り、日本や世界のキャッシュレス化の現状について考える。【思考力・判断力・表現力】
- ・日頃の自身のお金の使い方に目を向け、金銭管理の必要性に気付き、実践しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

### （2）本時の手立て

- ・事前に「買い物行動チェックシート」で、自身の金銭感覚について把握させる。
- ・1人1台の端末を使用して課題を考えさせる。
- ・グループで考察した内容を、端末を使用して全体で共有する。

### （3）教材・教具

- 教師 ①電子黒板（スライド、デジタルホワイトボード、アンケートフォーム、AIテキストマイニング）
- 生徒 ①端末（デジタルホワイトボード、アンケートフォーム）  
②教科書  
③ワークシート

### （4）学習の展開（50分）

	学習内容・活動	時間配当	学習形態	教師の支援 指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	○本時の目標を知る。	1分	一斉	<p>本時の目標</p> <p>① 日頃の自身のお金の使い方に目を向け、金銭管理の必要性に気付く。</p> <p>② 様々なキャッシュレス決済について知り、日本や世界のキャッシュレス化の現状について考える。</p>	

展開Ⅰ	<p>○自分の金銭感覚を知る ・クラスの傾向と自分の購買行動を比較する。</p> <p>① 1週間で使ったお金と買った物</p> <p>② 無駄遣いしたお金と買わなくてもよかつた物</p> <p>○お金の価値を考える。 ・24,000円の使い道を話し合う。</p>	5分	一斉 班	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に課題で行っていた買い物行動チェックシートを分析したデータを提示する。</li> <li>AIテキストマイニングで、データ分析を行う。</li> <li>令和5年の最低賃金を提示する。</li> <li>既習の内容（貯める、育てる、消費する）について触れる。</li> </ul>	
展開Ⅱ	<p>○支払方法の多様化 ・現金派とキャッシュレス派に分かれてそれぞれのメリットをデジタルホワイトボードに入力する。</p> <p>・入力内容を全体で共有する。</p> <p>・支払方法の多様化の動画を見る。</p> <p>・多様化した支払方法の基礎知識を学ぶ。</p> <p>・日本と世界のキャッシュレス化の現状を知る。</p>	5分 3分 2分 5分 5分	個人 一斉 一斉 一斉 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をして、デジタルホワイトボードの使用がでできているか確認し、必要であれば助言する。</li> <li>・メリットは、他方のデメリットにもなることに気付くよう声掛けする。</li> <li>・動画や写真、実物を使って、共通認識できるようにする。</li> <li>・動画の確認クイズをし、知識の定着を図る。</li> <li>・データを用い、根拠を持った説明をする。</li> </ul>	<p>●自分の立場の意見を考え、入力している。（様相観察、デジタルホワイトボードの記入状況）【思考・判断・表現】</p>

展開Ⅲ	<p>○キャッシュレスの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済の問題点について、グループで話し合う。</li> <li>・グループで出た意見をデジタルホワイトボードに書く。</li> <li>・キャッシュレス決済の問題点に対する対策について知る。</li> </ul> <p>○今後のお金の管理について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭記録をデータで管理する方法を知る。</li> </ul>	<p>5分 2分 5分 5分</p>	<p>グループ 一斉 一斉 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレスには便利な反面、気を付けなければならないことがあることに気付くよう声掛けする。</li> <li>・事例や既習の内容から考えられるようにする。</li> <li>・考えが深まるよう、資料を提示する。</li> <li>・無料で使える家計簿アプリの紹介をする。</li> </ul>	<p>●積極的に意見を出し、発言している。(様相観察、デジタルホワイトボードの記入状況) 【思考・判断・表現】</p>
まとめ	<p>○本時の学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書をみながら、学習を振り返る。</li> <li>・ワークシートに記入する。</li> </ul>	5分	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標が達成できたら確認する。</li> </ul>	<p>●計画的な金銭管理について考え、実践しようとする。(ワークシートの記述分析) 【主体的に学習に取り組む態度】</p>

### (5) 板書計画

持続可能な消費生活～支払方法の多様化～

**本時の目標**

- ① 日頃の自身のお金の使い方に目を向け、金銭管理の必要性に気付く。
- ② 様々なキャッシュレス決済について知り、日本や世界のキャッシュレス化の現状について考える。

**多様な支払い方法**

現金	前払い	即時払い	後払い
キャッシュカード 通帳	プリペイドカード	デビットカード	クレジットカード

### (6) スライド（別紙）